

劇団びいたあばんの公演が行われました



3月29日、外来診療棟1階アメニティテラスにおいてミュージカル劇団びいたあばんによる公演が行われました。劇団びいたあばんは子どもたちだけが所属する劇団で、今回の公演で

は小学生から大学生までの方がパフォーマンスを披露してくださいました。美しい歌声や迫力のあるタップダンスなど、観客からは自然と手拍子が湧き上がりました。

コンシェルジュ端末とアメニティテラスに愛称をつけました

本院には、フロアマップやご意見の回答を表示する機能を持つコンシェルジュ端末と、座ってひとやすみしたり、飲食したりできるアメニティテラスを来院された方々に利用いただいています。このたび、親しみを持っていただき、より多くの方に利用していただくためにコンシェルジュ端末とアメニティテラスに愛称をつけました。愛称はそれぞれ「コンシェルジュ端末・ヘルプくん」、「アメニティテラス・憩いの広場」となりました。「ヘルプくん」と「憩いの広場」の愛称が定着し、多くの方に利用いただけることを願っています。

キッズセミナーを開催しました



5月13日に、毎年恒例のキッズセミナー「ナースのおしごとを体験しよう!」を開催し、小・中学生31名・同伴者23名と、昨年の2倍の参加者がありました。親御さんたちが見守る中で、患者役の体温や血圧を測ったり、聴診器で呼吸音を聴いたり、車椅子で院内を回ったりと、楽しみながら看護師体験を行いました。

徳島県医療人材育成機関に認証されました



平成29年1月、県は患者や住民への理解を進めると共に実習受入施設を増やし、質の高い医療人材育成を確保することを目的として「徳島県医療人材育成機関認証制度」を創設しました。この度当院も「徳島県医療人材育成機関」に認証されました。看護部における多数の看護学生の臨地実習指導や院内認定研修コースの外部公開といった人材育成の取り組みが評価されました。

アメニティテラスにピアノを設置しました

外来診療棟1階のアメニティテラスに、ピアノを設置しました。午前7時～7時45分・午後6時～7時の1日2回、自動演奏が行われます。また、不定期に開催している「ミュージックセラビー」でも演奏され、テラスをご利用いただいている方やお集まりいただいた方に美しい音色をお届けする予定です。

国際医療センターが設置されました

平成29年4月1日から徳島大学病院に国際医療センターが設立されました。「国際医療」とは、日本国内に訪れた外国人に対する医療（インバウンド）と海外に対して行う医療支援（アウトバウンド）です。世界一の長寿国を支える日本の医療に対して、海外からは国際貢献が求められています。大学病院は地域の基幹病院であるとともに、地域の「国際医療」の拠点病院です。国際医療センターは、地域と世界の両方を意識して、より充実した医療を提供できるよう準備を進めています。

総合診療部の開設

総合診療部では、病院を受診する患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、総合診療医を中心とした医療チームで総合的に診療します。そして、必要に応じて専門各科、地域の医療機関、介護・福祉・保健サービスなどと連携しながら一人ひとりのニーズに応じた基本的な医療を提供いたします。受診の際には紹介状をご用意ください。

市民公開講座のご案内

日本消化器学会四国支部
第76回市民公開講座
「消化器がんを学び、
健やかに生きる。」

【日時】平成29年9月9日(土)
13:30～16:30
【場所】JRホテルクレメント徳島
【参加費】無料
【問い合わせ】消化器内科 医局
tel.088-633-7124

平成29年度
「運動器の10年・
骨と関節の日」
市民公開講座

【日時】平成29年10月1日(日)
10:00～14:00
【場所】生涯福祉センター
(ふれあい健康館)
【参加費】無料
【問い合わせ】整形外科 医局
tel.088-633-7240

第15回
徳島神経難病セミナー

【日時】平成29年7月30日(日)
13:30～16:30
【場所】藍住町役場4階コミュニティセンター(町民シアター)
【参加費】無料
【問い合わせ】神経内科 医局
tel.088-633-7207

治験を実施しています



現在、開発中の医薬品の候補（治験薬）を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思いますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 慢性血栓塞栓性肺高血圧症
- 心房細動
- 全身性強皮症を伴う間質性肺炎
- 多発性骨髄腫
- 骨髄異形成症候群
- 脳卒中後下肢痙縮
- 食道癌
- 腎癌
- 前立腺癌
- 尿路上皮癌
- 過活動膀胱
- 神経因性排尿筋過活動
- 子宮頸癌
- 金属アレルギー

ご協力お願いします。



問合せ：_____
臨床試験管理センター
tel.088-633-9294

ちけん君は
日本医師会
治験促進センターの
キャラクターです。

病院のお仕事いろいろ



患者さんと
ご家族の決断に
寄り添える緩和ケアを

がん看護専門看護師
看護部 緩和ケアセンター

松岡由江（まつおか よしえ）さん
看護師

松岡看護師は12年に渡るホスピスでの勤務経験の後、更なるステップアップを目指して4年前に徳島大学病院に来られました。広い視野で物事を見るためにはより専門性の高い資格を取ることが必要だと感じたそうです。そこで徳島大学病院での勤務を決断し、同時に大学院への社会人入学も決意しました。2年間の院生生活では、他の分野を極めている看護師たちと意見を交わす機会があり、自分の経験したことのない立場からの意見を知ることができました。職場の支えがあり、院は無事に2年間で卒業することができました。同時に「がん看護専門看護師」の資格も取得しました。

徳島大学病院では、それまで経験のなかった治療期の患者さんのケアに携わり、急性期病院としての役割や苦勞を知ることができたそうです。「がんという病気と闘う中で感情の揺れ動く患者さんとその家族に、そのときそのときの決断が「最善であった」と思っていただけに寄り添えたい」と語られました。

「今は社会のかたちが変わってこうとしている過渡期。病床数は減少傾向にあり、将来的にターミナル期の患者さんは家で療養するかたちになる傾向があります。拠点病院として地域の病院との連携を強め、患者さんがスムーズに自宅療養を始められるよう調整ができる仕組みづくりをしています。」（松岡看護師）